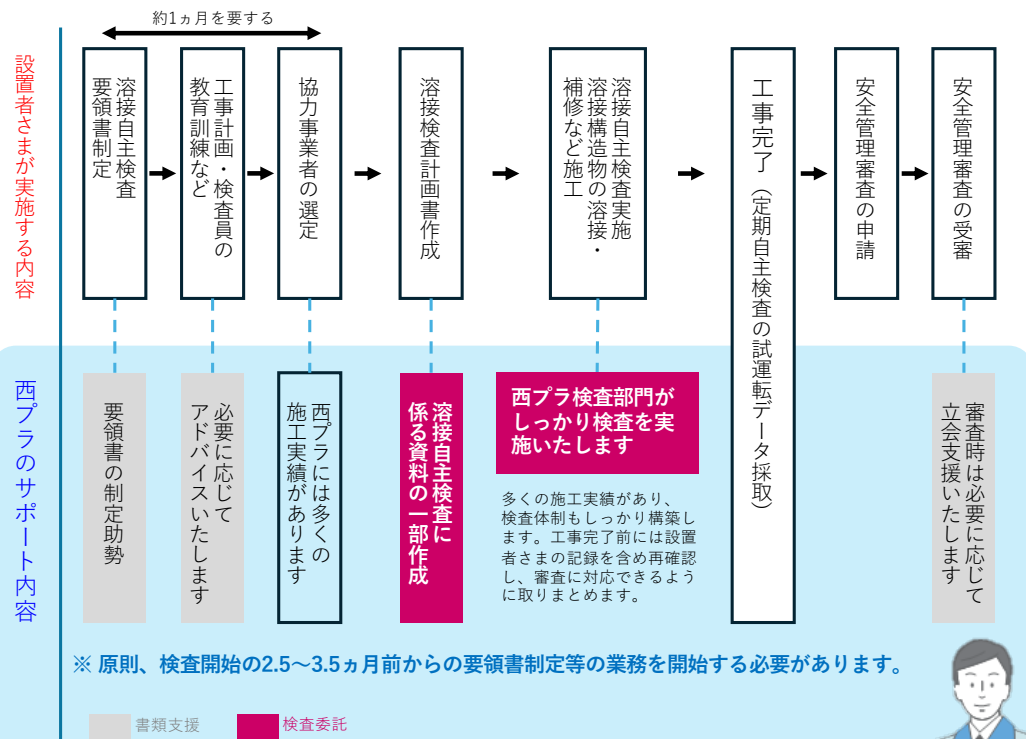


WELDING INSPECTOR 溶接自主検査サポート

2017年4月以降、定期(使用前)安全管理審査時に『溶接自主検査の実施状況及びその結果』を審査されるようになりました。それに伴い、溶接自主検査発生件数分(複数)をまとめて受審することになり、設置者は記録の管理や技術基準適合確認作業が膨大になりました。西プラは全ての検査に関わる作業をサポートいたします。



溶接自主検査のサポート概要



膨大な記録管理や確認作業をしっかりサポート！



検査はもちろん、溶接工事もお任せください！

西プラは溶接センターを設置し、多数の溶接士が在籍しています。

「プロセス認証 | 認証書」を取得し、全国で多様な溶接工事に対応しています。

【電事法対応溶接士数】

(2025年4月1日現在)

種類	方法	試験材	姿勢	溶接棒	保有者数
TIG溶接(炭素鋼)厚さ制限有	T	W-3	r	R-1	10
TIG溶接(ステンレス鋼)厚さ制限有	T	W-3	r	R-5	19
TIG溶接(炭素鋼)厚さ制限無	T	W-4	r	R-1	44
アーク溶接(炭素鋼)厚さ制限無	A	W-4	r	F-4	54
アーク溶接(ステンレス鋼)厚さ制限無	A	W-4	r	F-5	11
半自動溶接(炭素鋼)厚さ制限有	M	W-4	r	E-1	10
	M	W-4	e	E-1	7

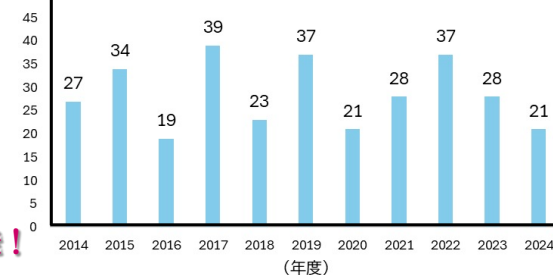
(溶接施工法)

125 種



製作から施工まで対応可能！

溶接自主検査対応実績件数



民間製品認証制度について

西プラは「プロセス認証 | 認証書」を取得しており、民間製品認証制度を活用できます。

民間製品認証制度を活用した場合のメリット

(定期又は使用前)安全管理審査時の溶接自主検査実施状況の審査

< 審査内容 >

総括表による10%の検査記録、および根拠資料の審査が製品(溶接部)認証書の提示で一部省略される。※記録は必要

審査時間の大幅短縮

< 活用時の評価 >

審査機関による認証書が審査前に発行されているので、審査時に不適合となる可能性が極めて低い。※溶接品質が確保される

設置者の負担軽減

溶接自主検査におけるサポート内容

- 1 要領書の制定、工事計画、検査員の教育訓練支援(法改正対応含む)
- 2 溶接自主検査の実施、記録の取りまとめ(西プラ検査部門にて対応)
- 3 溶接自主検査記録の取りまとめ(設置者さま実施分)
- 4 安全管理審査の受審立会支援

支援費用

左記1、3、4の支援で20万円～(経費除く)

※支援内容により金額は変わることがあります

検査費用

左記2は、西プラ検査部門の費用であり、仕様により決定

お客さま負担軽減のため、民間製品認証制度の活用を推奨します。